

# イノシシへの対応・対策

●イノシシの被害を防ぐためには、生態・習性を知り、より効果的な対策を取ることが必要

## 習性その1 イノシシは夜行性ではありません

イノシシは夜間に活動しているイメージがありますが、夜行性の動物ではありません。人間が活動している時間帯は警戒して身を隠しているだけです。警戒心がなくなれば日中も行動するようになります

## 習性その2 イノシシは臆病な動物です

イノシシは臆病で用心深い動物です。人間の気配や違和感を感じれば出てこなくなります。障害物などは初めてのものには警戒しますが、馴れてしまうと警戒しなくなります。

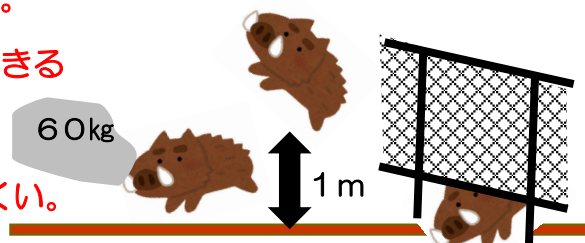
## 習性その3 臆病なイノシシもいざとなったら凶暴です

臆病で警戒心が強く人間の前では身を隠す習性であっても、窮地に立ったイノシシは凶暴な野生獣になります。わなに掛かっていたり、何かの拍子に住宅地に迷い込んでパニックになったイノシシは人間に向かってくるので細心の注意が必要です。

### 運動能力など

- ① 嗅覚にすぐれ、鼻先だけで50~60kgのものを持ち上げる。
- ② 助走なしで1m程度の跳躍ができる。
- ③ 足を折り曲げて柵をくぐることができる
- ④ 鼻、腹、足の裏以外は体毛に

覆われていて電気柵の電気が通じにくい。



### 隠れる場所

茂みやヤブがある場所が好き。



くぐり抜ける

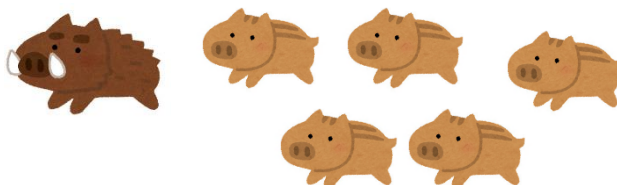
### 食べ物

春はタケノコ、夏は草、実、秋は山芋、根、ドングリ、栗などを食べる。

※植物食に偏った雑食性があり、学習能力が高く、エサを食べたことのある場所を覚える。

### 繁殖力

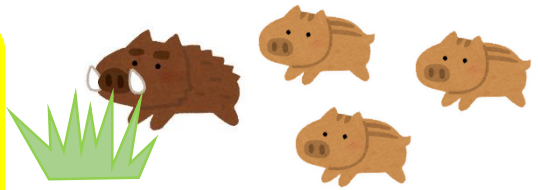
毎年4月~6月に平均4~5頭出産する。発情期12~2月は興奮状態にあるので注意が必要。



# イノシシに出会ったら

## ① イノシシを刺激しない

(大声をださない、急に動かない、こちらから何もしない等刺激しない)



## ② ゆっくりと後ずさりしその場を離れる

又は イノシシが登れないような高いところに登る

## ③ 近づかない

# 人に馴れさせないようにしましょう

## 1 環境づくり

(1) 平地林の下草刈りやヤブを刈り払いして、明るく見通しの良い環境をつくり、隠れ場をなくしましょう。



## (2) イノシシの餌場を作らない

放任果樹(柿、栗など)、家庭菜園や田畑周りの野菜くずや果物を片付けましょう。



(3) ごみ集積所が餌場にならないようごみ捨てルールを守り、地域で工夫し防止しましょう。



## 2 抑止

防護柵などの設置は、侵入防止の有効な方法です。

